Mu Project

STARTUP the CHOIR 2017-18



こんなことありませんか?

ムウプロを立ち上げたのは、過去に高校や大学などで合唱団に所属していた経験のある人たちです。過去の経験を活かして、理想とするより良い合唱団のあり方を日々工夫しています。

気づいたら 次のステージが決まっていた

突然、何の前触れ無く決まる本番。ひどい時に はきちんと周知すらされないことも。頑張りま しょうと言われても、こちらにも都合が……。

練習以外にするべきことが多すぎて 練習に集中できない

練習場所取り、ホールとの打ち合わせ、資料の 準備……。書類書類書類……やることが多すぎ て練習に来ても音楽に集中できない!

毎回の本番を こなしているだけのような気がする

コンクールが終わったら演奏会、演奏会が終わったらフェスティバル……。活動が充実しているのは確かに良いことのように思うけれど……。

理想は語り合うが 団の活動に反映されない

ああしたい、こうしたい。飲み会では熱心に語られる合唱や合唱団の今後についての話、きちんと活動に活かせているのだろうか?



| 部局制度による 強固な「組織」になるために

ムウプロは、他の多くの組織が採用している部局制度を導入しています。ムウプロの部局制度において、全ての団員は 5つある部局のいずれかに所属し、それぞれ興味があることや得意な分野で業務を行います。部局長で構成される執行部 会議の決定事項は、業務の担当部局決定や部局間の調整事項に留まり、トップダウン型組織からの脱却をはかります。

また、業務を部局というグループに割り振ることは、業務の属人化を避けプロジェクトがより円滑に進むことへとつながります。専門家集団というのも組織の理想の形ですが、私たちが目指すべきは「合唱」の専門家であって「練習場所の抑え方」や「見やすい進行表の作り方」の専門家ではないはずです。これらはいつでも代替可能な業務であるべきです。

あくまで趣味のひとつである合唱活動が、個人のプライベートな時間を過度に圧迫してしまうことは避けなければなりません。複数人による業務分担と軽減は、合唱団において必須事項のひとつと言えるのではないでしょうか。

総務部

ムウプロの全団員に関わる業務を担当します。練習日程・場所の決定、出席調査、入退団の管理など、内容は多岐にわたります。

広報部

インターネット上での情報発信や練習見学会 (新歓)の企画といったムウプロの活動を内 外に周知するための業務を行います。このパ ンフレットも広報部が主導となって制作され たものです。

団員総会

年に1度行われる定期総会には全 団員が出席し、決算報告、部局ご との年度方針の承認、中期計画の 見直しなどが行われます。

技術部

コンサートマスターが所属しています。総会で承認された技術方針に則り、練習のマネジメントや選曲等を行います。(ムウプロのコンサートマスターは作品ごとの当番制を採用しています)

企画部

団員からの意見をもとに、自主開催の演奏会からレコーディング、コンパまで様々な企画の立案を行います。制作(企画の遂行)は、部局を問わずに臨時で組まれたチームで行う場合が多いです。

経理部

日々の活動に必要なお金の管理、半期ごとに 行われる会計監査書類の作成・提出、年度予 算および決算書類の作成などを行います。

Slackを活用した ITを駆使した団内コミュニケーション カキ的な運用環境

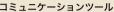
ムウプロでは団員間のコミュニケーション(情報伝達)にEメールが使われることは一切ありません。団員間の連絡は殆ど全て、Slack(スラック)というチャットツールで行われます。

ご存知のように、合唱団の日々の活動に要する業務は意外と膨大です。そして、週に一度しかない練習時間内でそれらに関する全ての議論を行なうにはあまりに時間が足りません。しかしながら、メールというフォーマットは議論にはとことん不向きです。メーリングリストに賛成と反対の返信が一度に届いて議論が膠着してしまい、結局「次回の練習後に集まって話しましょう」ということになってはせっかくのツールを活用する意味がありません。

Slackでは、部局や目的ごとのチャンネル(チャットルーム)を設置しています。ムウプロは、全てのチャンネルを公開し閲覧可能とすることで、団員は誰でも必要な情報にアクセスすることができます。「自分の知らないところで合唱団の方針が決まっていた」ということはありません。また、練習連絡や出欠状況の報告、外部から届いたメールを指定のチャンネルに転送するといった単純な作業を自動化することで団員の負担軽減にも一役買っています。

Slackの他にも、タスク管理ツール Trello といった最新の IT ツールを活用することで、より効率的で便利な環境構築を日々模索しています。









タスクの管理





プロジェクト 3 中長期計画 考え続ける活動計画

コンクールや演奏会、フェスティバルへの参加など、合唱団の活動はその気になればいくらでも忙しくなります。初めは悩みに悩んで出場を決めたコンクールも、いつしか「去年と同じように」ルーチンとして出場するようになっていませんか? ムウプロは、常設の団体だからできることを重視したいと考えています。常設ならではの利点を活かすためには、1回ごとの本番を「こなす」ことよりも広い視野で合唱団の活動を見据える必要があります。継続は力なりといいますが、その継続の軸を意識するか否かでその結果は変わってくるに違いありません。ムウプロでは、5年間を1期とした中期計画を策定し、年度ごとの団活動の指針としています。本番に振り回され、活動が意味のない反復を重ねないように、日々の活動を着実に積み上げられることを目指しています。

第1期

2015-2019

歌唱技術を向上 歌い続けられる体制を確立する

第2期

2020-2024

新作委嘱や自主公演を精力的に行う 団運営において資金的自立を果たす

第3期

2025-2029

「合唱」の枠組みにとらわれず 幅広い創作活動を行う

結成した2015年より始まった第1期中期計画(2015-2019)では、確かな技術力と強固な組織体制、社会的評価の獲得を目標としています。一方で、2020年以降の第2期へ向けた準備も着々と進めています。



活動概要

練習日	原則日曜日13-17時(月3回程度、出席状況によっては土曜) うち1回を優先して出席するインテンシブ練習に設定し、団員の出席率をコントロー ルしている。 毎月1回、田中豊輝さんによるボイトレ(2時間)を実施。
練習場所	東京都内(主に千代田区、江戸川区)
活動に関わる 費用	入団費なし 月団費 2,500円(学生は1,500円) ※3ヵ月ごとに銀行振込で支払 その他 楽譜購入費(実費) 合唱連盟行事等の参加費(実費)

これからのムウプロ(活動予定)

2018年 2月 東京春のコーラスコンテスト2018

10日 ジャズ・ポップス部門 「星屑の街」「やさしさに包まれたなら」

25日 クラシック・現代部門 「三つの情景」

5月27日 おにいさんコーラスフェスティバル2018 開催

9月 第73回東京都合唱コンクール 出場予定

11月 第18回東京男声合唱フェスティバル 出場予定

これまでのムウプロ

2015年 4月 創団

11月 第15回東京男声合唱フェスティバル 出場 「どちりなきりしたん 第4楽章」

2016年 2月 東京春のコーラスコンテスト2016

クラシック・現代部門 入賞 「流星」「噴水」

9月 第71回東京都合唱コンクール

ユースの部 出場 「第2ヴォカリーズ」「Night」「手近からのうた」

2017年 2月 東京春のコーラスコンテスト2017

フォルクロア部門 入賞 「会津磐梯山」「八木節」

クラシック・現代部門 入賞 「おらしょ 第2楽章」

6月 Ensemble Bel Homme & Mu Project ジョイントコンサート

「夏がはじまる音」 開催 (Ensemble Bel Hommeとの共同開催)

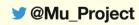
9月 第72回東京都合唱コンクール

室内合唱の部 銀賞 (4位) 「会津磐梯山」「合唱のためのコンポジション第6番 第2楽章」

11月 第17回東京男声合唱フェスティバル 出場 「星屑の街」









お問合せ

Mu Project 広報部 pr@mu-project.jp